

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,768	t-CO <sub>2</sub>
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素 換排 出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	③メタン		t-CO <sub>2</sub>
	④一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑧三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		2,768	t-CO <sub>2</sub>

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量	2,847	t-CO <sub>2</sub>	2,761	t-CO <sub>2</sub>	2,768	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)			3.0	%	2.8	%		%		%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度			
原単位当たりの 排 出 量	0.4333	t-CO <sub>2</sub> / H r	0.4203	t-CO <sub>2</sub> / H r	0.4212	t-CO <sub>2</sub> / H r		t-CO <sub>2</sub> / H r		t-CO <sub>2</sub> / H r
削減率 (対 基準年度)			3.0	%	2.8	%		%		%
原単位当たりの みなし排出量						t-CO <sub>2</sub> / H r		t-CO <sub>2</sub> / H r		t-CO <sub>2</sub> / H r
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

<p><b>目標非達成</b>                  昨年に比べ、総排出量は減っておりますが、目標には達成しておりません。要因としまして、イオンタウン有松では活性化工事が2025年～2026年にかけて進行中で、それに伴い2024年よりテナントの入れ替わりが発生しており、長期間テナント区画が空所となっております。その為、電気の使用量が昨年より少ない結果となっております。</p>
---

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	氷蓄熱設備の効率の良い運転のため点検・保守・管理を実施する パッケージエアコンの効率の良い運転のため点検・保守・管理を実施する		夜間製氷を厳守し、昼間2台の蓄熱槽を順番に使用し、蓄熱利用を徹底しております。 パッケージエアコンは温度設定を、夏場は高め(24℃)、冬場は低め(20℃)にて運用。
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	空調フィルターの清掃等、空調機の効率の良い運転のための点検・保守・管理を実施する		室外機フィン洗浄、室内機フィルター洗浄を実施。
省エネルギー・省資源の行動実践 照明	点内照明・看板照明等 点灯する時間帯を見直し、不必要な照明を消灯する  照明器具のLED化		日中日差しが入る駐車場の照明は点灯せず運用。明るさに応じた照明点灯のスケジューリング実施。
廃棄物の排出抑制	一般ごみの減量化を図る		ごみの排出量は月間の確認を実施。
廃棄物の排出抑制	コピー用紙の使用削減、ペーパーレス化		ペーパーレス化が進んでおり、コピー用紙の使用自体を削減
廃棄物の再資源化	ごみの分別の徹底 資源ごみの分別 再資源化		資源ごみ分別の徹底。 日常点検で分別ごみのチェックを実施し、分別されていない場合、テナントへの指導を行う。
省エネルギー・省資源の行動実践 冷蔵・冷凍設備	ノンフロン冷蔵・冷凍設備の導入		テナントのマックスバリュに2024年2月に一部導入しておりますが、以降は導入できておりません。

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
kl	t-CO <sub>2</sub>

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)	
電力			t-CO <sub>2</sub>
熱			t-CO <sub>2</sub>

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日
---

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

1. レジ袋の削減：買物袋持参率向上のための取組み  
セルフレジ拡大によりレジ袋の有料化の意識付け及びマイバック利用を促す。
2. 環境保全型商品の販売拡大、紙のリサイクル  
紙のリサイクルを推進。ゴミ庫巡回により古紙、段ボール分別徹底の意識付け推進。
3. 店内照明のLED化を進める  
一部共用通路照明のLED化を実施。

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

省エネルギー・省資源行動の実践

2024年11月より、外壁塗装工事に伴い外壁看板を一時撤去しており消灯しております。